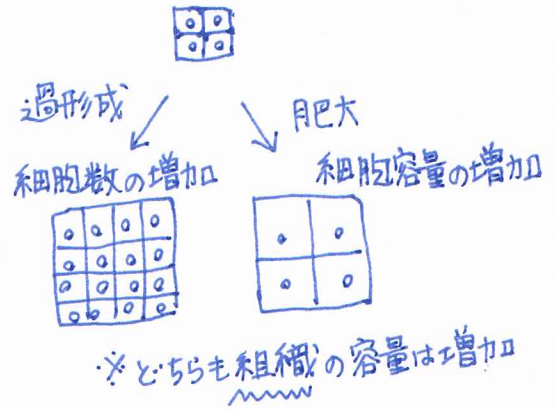


# 病理学：細胞の変化、循環

40-052 誤っている組合せはどれか。

1. 萎縮——正常な組織の縮小
2. アポトーシス—プログラムされた細胞死
3. 肥大——細胞数の増加 **細胞容量**
4. 過形成——組織の容量の増大 **細胞数の増加による**
5. 化生—母組織が異なった組織に変化した状態

## 過形成と肥大



40-053 浮腫を説明するのはどれか。

1. 血管透過性の低下 **亢進**
2. リンパ管の拡張 **閉塞**
3. Na<sup>+</sup>と水分の貯留 **Naと水分が貯留すると循環血漿量が増え、毛細血管内圧が上昇。**
4. 血漿蛋白量の増加 **低下**
5. 毛細血管内圧の低下 **増加**

42-049 萎縮の原因で誤っているのはどれか。

1. 栄養の低下
2. 血液供給の減少
3. 対臓器の一側の欠損 → **肥大の原因。**
4. 仕事負荷の消失
5. 内分泌刺激の消失

## 萎縮の原因

- 加齢
- 栄養障害
- 血液供給の低下 (循環障害)
- 廃用
- 圧迫
- 神経支配の減少
- 内分泌刺激の減少

43-050 萎縮の機序で誤っている組合せはどれか。

1. 長期臥床による筋萎縮——廃用
2. 水頭症による大脳萎縮——持続的圧迫
3. 総腸骨動脈狭窄による筋萎縮——血流の減少
4. 末梢神経損傷による筋萎縮——神経支配の消失
5. 下垂体腫瘍による視神経萎縮——**視神経の圧迫 (視神経交叉の下=下垂体がある。)** 内分泌刺激の減少

43-051 褥瘡発生の要因でないのはどれか。

1. 低栄養
2. 高血圧
3. 浮腫
4. 筋萎縮
5. 末梢神経障害

## 浮腫の原因

- リンパ管の閉塞 → 組織液が循環せず貯留
- 血管透過性の亢進 → 血管から血漿成分が出ていく。炎症時など
- 毛細血管圧の上昇 → うっ血、循環血漿量の増加
- 血漿膠質浸透圧の低下 → アルブミンの低下…肝障害
- 低たんぱく血漿…初ドゼス、ナトリウム、水分の貯留

44-050 加齢に伴う骨格筋の萎縮で正しいのはどれか。

1. 細胞のアポトーシスである。 **ではない。**
2. 退行性変化の1つである。
3. 筋原性変化が特徴である。 **神経原性 (α運動細胞の減少)**
4. 筋線維がマクロファージに貪食される。 → **筋炎の説明である。**
5. 筋線維が結合組織に置換される。 → **筋ジストロフィー、仮性筋肥大などの説明である。**

44-051 廃用性筋萎縮で正しいのはどれか。

1. 筋原線維は保たれる。 **ない。蛋白合成が減少するため、筋原線維の合成が低下し筋原線維数が減少。**
2. 筋内神経線維は保たれる。 **神経は障害されない。**
3. 筋張力は保たれる。 **低下する。筋原線維減少 → 筋線維 ↓ or 細くなる → 筋の長さ ↓**
4. 筋線維の蛋白質合成は保たれる。 **減少する。**
5. 筋萎縮の進行速度は神経切断後と同程度である。 **より遅い。神経切断後の筋萎縮の進行は遅い。**

45-A-075 アポトーシスで正しいのはどれか。

1. 細胞環境の悪化によって生じる。→ 壊死の説明
2. 高濃度の酸素投与で予防できる。↑
3. マクロファージの浸潤を伴う。わかんない。
4. DNAの断片化が生じる。
5. 核が膨張する。

縮小

45-P-075 生理的加齢によって脳の容積が縮小しているときの細胞の状態はどれか。

1. 壊死 .. 細胞の傷害により細胞が死ぬこと
2. 化生 .. 正常の細胞が他の細胞に置き換わること
3. 萎縮
4. 変性 .. 多くの場合、細胞内に存在しない物質が蓄積した状態をいう
5. 異形成 .. 細胞の異常な変化、前がん状態

48-A-075 疾患と病理学的変化の組合せで正しいのはどれか。

1. 多発性硬化症 ————— 脱髄 中枢神経の脱髄 (大脳, 小脳, 脳幹, 脊髄で、神経線維の脱髄がおこる。)
2. Binswanger 病 ————— 感染 大脳白質の虚血性病変
3. Huntington 病 ————— 炎症 線条体の変性
4. Creutzfeldt-Jakob 病 ————— 出血 プリオンによる感染
5. Charcot-Marie-Tooth 病 ————— 虚血 変性

50-A-075 疾患と病理変化の組合せで誤っているのはどれか。

1. Parkinson 病 ————— 中脳黒質 大脳白質の変性
2. 多発性硬化症 ————— 中枢神経の脱髄
3. Huntington 病 ————— 線条体の変性
4. Alzheimer 病 ————— 大脳皮質の変性
5. 筋萎縮性側索硬化症 — 脊髄前角細胞の脱落 と側索の変性

